



(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

クチバシカジカ

イノシシの子ども「うり坊」
によく似た姿は、ダイバーにも大人気です！

クチ坊 恋の季節がやってきた！

今月ご紹介するのは、南三陸町の観光＆物産イメージキャラクター「クチ坊」ことクチバシカジカです。シャイな性格の彼・彼女らは、普段は岩の亀裂などに身を潜めているため、このユニークな姿を見つける事は非常に少ない魚です。そんな彼らも山が色付き始める頃になると、妙にそわそわし始めます。食欲が旺盛になり、亀裂から出歩いて好物の小さなエビやカニの仲間をついばむ姿が観察できるようになってきます。自慢の胸びれを使い、チョコチョコ歩く姿を見たダイバー達は、水中で歓喜の声をこだまさせます。

クチ坊たちは、11月後半から繁殖期「恋の季節」を迎えるのです。オスはメスが卵を産む場所を確保し、その場所をきれいにクリーニングしてメスがやってくるのを待ちます。そして、メスは頑丈で良い場所を確保したオスを選択します。そんなクチ坊たちの熱い恋の季節の到来です！

編集後記

▶今年もあと2カ月を切りました。朝夕が涼しくなり紅葉シーズンを迎えると、ビュービューと冬の訪れを感じさせる木枯らしが吹くようになりますが、私の場合は、隣で寝ている息子の鼻が奏でるビュービューというハナクソ笛の音を聞くと、もう冬が来るなぁと感じるのです。▶気象庁では、10月半ばから11月末にかけて、西高東低の気圧配置になったときに、北よりの風速8メートル以上の風が吹くと、その風を「木枯らし」と認定するそうです。また、台風と同じように、その年の秋に最初に吹いた木枯らしを「木枯らし1号」として発表するのだそうですが、我が家では早くもハナクソ笛1号が発表されました。▶息子の鼻にそれが詰まると、空気が乾燥するこの季節はカラカラに乾き、楽器でいうところのリードの役目を果たして、何ともいえないメロディーを奏でます。メロディーというか、雑音というか、…まっ、いわゆる寝不足の日が続いているのです。大きなあくびをしたら、私の鼻からもビューッと寂しげな音が鳴ったので、急いで加湿器を準備したいと思います。 担当 加藤

わが家のアイドル



小山 そらちゃん
空

(◎館浜)

平成22年2月21日生まれ

パパ 正人さん

ママ 敬子さん

おうちの方から一言

この笑顔に日々いやされています。

本当にかわいい、我が家のアイドルです！